

# 中小企業のための生産性向上セミナー

主催：大阪商工会議所

共催：大阪工業大学

## 「人流の見える化」で伸びる生産性

DXで人流がわかれば、ビジネスチャンスと生産性向上につながる

令和3年10月5日(火) 14:00 ~ 16:00

ホテル京阪 京橋グランデ (都島区東野田町2丁目1-38) 7階

IT化や、IoT・AIの活用といわれてきましたが、近年、DX（デジタルトランスフォーメーション）という言葉も耳にするようになりました。DXは全く新しい技術ではなく、「ITの浸透が、人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させる」という概念です。

今回はDXとは何か、また企業がDXにどのように取り組み、新たなビジネスチャンスや生産性向上につなげていけるのか、大阪工業大学の研究成果とともにお話いたします。

< 基調講演 >

14:00 ~ 15:10

### DXの課題と人流センシングによる業務改善／ビジネス開拓

近い将来、多くの日本企業では、既存のITシステムの老朽化、ブラックボックス化、そして業務の縦割りなどが進んできたことにより、事業の拡大や企業の成長が大きく妨げられる問題「2025年の崖」が生じると警告されています。これを回避するために、多くの企業がデジタルトランスフォーメーション（DX）への取り組みを始めていますが、その恩恵を享受するのは簡単ではありません。この講演では、DXの必要性とその課題について、事例を挙げながら概説いたします。またDXの目指す方向として、データの利活用による新たな価値創造が挙げられていますが、その一例として人流を見える化するためのテクニックのご紹介と、それによる業務改善策やビジネスチャンスの足掛かりとなるご提案をいたします。

大阪工業大学 情報科学部 情報知能学科

教授 尾崎 敦夫 氏

< 事例研究 >

15:20 ~ 16:00

### DX！スマートシティとインダストリー4.0 大阪工大の挑戦

DXの基本的な構想として、スマートシティとインダストリー4.0が挙げられます。

一方で、2021年ダボス会議（世界経済フォーラム）のテーマはグレートリセットでしたが、DXがもたらすものは本当にユートピアなのでしょうか？それともディストピア？

「風の時代」と呼ばれる今日、企業がDXにおいて生産性を向上しつつ継続的発展につながるヒントを大阪工業大学の技術開発への取り組みを交えながら解説いたします。

大阪工業大学 研究支援・社会連携センター

シニアURA 北垣 和彦 氏

## 講師

大阪工業大学 情報科学部 情報知能学科

### 教授 尾崎 敦夫 氏

1990年九州工業大学大学院計算機コース博士課程前期修了。同年三菱電機株式会社・情報電子研究所（現在の情報技術総合研究所）に入社。以来、航空宇宙・危機管理・防衛分野を対象に、モデリング&シミュレーション技術、並列分散処理技術、AI等の最適化技術を駆使した意思決定支援システムの研究開発に従事。2018年4月より現職。2021年度より電子情報通信学会・システム数理と応用研究会委員長



## 会場

### ホテル京阪 京橋 グランデ 7階

(大阪市都島区東野田町2丁目1-38)

## 受講料

会員・非会員ともに**無料**

## 日時

令和3年10月5日(火) 14:00 ~ 16:00

## 定員

100名 ※1社2名まで受付とさせていただきます。  
※開催1週間前頃に、FAXにて受講票をお送りいたします。

## 対象

経営者・経営幹部、技術者など生産性向上に関心のある方

お願い 本事業は大阪府の経営支援事業費補助金の一部を受けて実施しているため、大阪府へ実施報告を致します。講演会ご参加の際には、必ずアンケートにご協力賜わり、事務局までご提出ください。アンケートの提出に関しましては、メール・FAX等でご連絡申し上げますこととございます。ご了承ください。

## お申込み

FAX.06-6358-6333

大阪商工会議所 東支部 林 行

**10/5 「人流の見える化」で伸びる生産性** 参加申込書

ふりがな 会社名		会員番号	
所在地	〒.....		
TEL		FAX	
資本金		業種	従業員数
ふりがな 参加者		参加者役職	

※ご記入いただいた情報は、大阪商工会議所（データ管理責任者）および共催者（大阪工業大学）間で共同利用し、本事業の事務業務に利用するとともに、大阪商工会議所および共催者からの各種連絡・情報提供（eメールによる事業案内含む）に利用します。また大阪府（事業費補助金交付元）へ事業報告のため提供いたします。